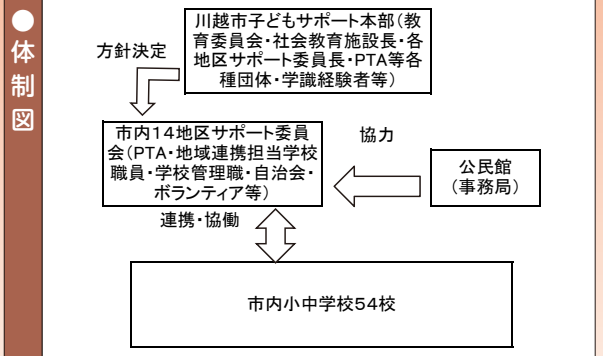


学校・家庭・地域及び社会教育施設が連携・協働し、生きる力を育む活動！

埼玉県川越市	● 活動名	● 関係する学校名
	川越子どもサポート事業	川越市内小中学校 54 校

開始年度	平成 16 年度	学級数	21 学級	児童・生徒数	658 人
活動内容	■学習支援活動 ■部活動支援 ■環境整備 ■子供の安全確保 ■学校行事等の支援 ■その他（伝統文化体験等）				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 14 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 14 人	連携団体・企業等	東京国際大学等
ボランティアの数	登録人数 433 人	属性	学校関係者、PTA 役員、自治会、地域住民等		
参考 URL					



● 連絡先 川越市教育委員会地域教育支援課 ☎ 049-224-6086

● 活動の概要・経緯

川越市の子供たちの豊かな人間性や社会性など「生きる力」を育むため、学校・家庭・地域及び社会教育施設が連携・協力し、人と人とのネットワークを構築しながら、地域ぐるみで子供たちを育てる体制を作ることを目的とし、平成 18 年度より市内全域の小中学校及び公民館、社会教育施設を 14 地区に分け、事業がスタートした。活動内容は学校教育を支援することで子供たちを育てる学校応援団活動と、様々な体験活動を提供し、子供たちを育てる地域の特色を生かした事業の 2 つの柱を軸に各地区の特色に応じた事業が積極的に行われている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

子どもサポート事業の 2 本柱の内、学校応援団活動の具体的な内容としては、児童生徒の登下校における安全安心の見守りから、学校ファーム等の環境整備、家庭科のミシン補助等の実技教科における授業支援、生活科における田植え体験や、地域に伝わるお囃子体験、縄ない、生け花、戦争講話などの伝統文化体験が年間を通して行われ、各校の現状に応じて多種多様な活動が頻繁に行われている。また、地域の特色を生かした事業では、子ども文化祭やほたる鑑賞、地域に伝わるかかし祭りなど、各地区の特色に応じた事業が積極的に行われている。

【実施にあたっての工夫】

学校と地域との連携協働に加え、各地区の事務局を公民館に置き、会場の提供などの協力も得て、事業が行われている。また、14 地区の中にはスタッフとして、地域住民ボランティア（以後サポート委員）だけでなく、地区内の学校に勤務する教員、市内で活動する大学生、市内の高校に通う高校生、地区内の中学生（小学生への支援）が学習支援のために参加している地区もあり、全員が連携協働し、子供たちの生きる力の育成に努めている。また、各地区サポート委員長、PTA 等の各種団体の長、大学有識者、社会教育施設長を委員とした年間 4 回の川越市子どもサポート本部会議を開き、子どもサポート事業の方針や取組の方向性などを協議、決定している。また、各地区の活動の質の向上を目指して各地区のサポート委員長が集まり、情報交換や意見交換などを行うサポート代表者会議を年間 2 回行っている。

● 事業を実施しての効果・成果

地域の特色を生かした事業では、市内各地の事業に対し、年間延べ 2 万人を超える参加者となっている。事業開始から 10 年以上が経ち、各地区では事業が地域に根差しており、地域住民同士を繋ぐ貴重な機会となっている。また、近年注目されている防災教育にもいち早く取り組む地区もあり、毎年避難所体験を行う「防災キャンプ」が行われている。さらに、災害などの有事の際に地域の中学生が主力となり、地域を支えられるよう炊き出しの体験を行う地区もある。このように、地域の子供たちを地域で育てる活動が着実に定着し、地域の良さに気付き将来の地区を背負っていく志の高い児童生徒の育成がなされている。

● その他

サポート本部会議、サポート委員会の他にも、市の主催で、市内小中学校 54 校の地域連携担当教員と各地区で活動しているサポート委員が一堂に集まり、国の政策について学んだり、各地区の活動について情報交換を行う、「学校・家庭・地域の連携」に関わる研修会を年間 1 回開催している。



「夏休み寺子屋教室」



伝統文化体験「お囃子教室」